

平成30年度 第3回 総 会

◇日 時：平成30年10月12日（金）

◇場 所：上伊那教育会館講堂

《 次 第 》

1 開 会

2 上伊那教育会の歌『仰望』

3 会 長 挨 拶

4 報 告

- | | |
|------------------------------|------------------|
| (1) 信濃教育会常任委員会 報告 | (飯澤会長) |
| (2) 信濃教育会臨時総会 報告 | (小澤常任委員) |
| (3) 信濃教育会第132回定期総集會小県上田大会 報告 | (小澤常任委員) |
| (4) 県外教育関係機関研修 報告・反省 | (小澤常任委員) |
| (5) 第70回日本連合教育会桐生大会参加 報告 | 飯澤 隆 会長 |
| | 西春近南小学校 小松 共一 会員 |
| | 伊那小学校 小林 正樹 会員 |
| | 辰野西小学校 藤澤 志穂 会員 |



5 協 議

- | | |
|----------------------------|----------|
| (1) 教育会各事業の中間報告 | |
| ① 職能研修事業 | (小澤常任委員) |
| ② 児童生徒育成事業 | (酒井常任委員) |
| ③ 郷土研究事業 | (加藤常任委員) |
| ④ 不動産貸与事業、会員共済事業、視察派遣・広報事業 | (唐澤事務局長) |
| ⑤ あり方委員会 | (原常任委員) |
| (2) 上伊那教育会総研修会『仰望の日』の反省 | (原幹事長) |
| (3) 少年の塔周辺整備作業・少年の塔慰霊祭の反省 | (原幹事長) |

6 諸 連 絡

- | | |
|---|--|
| (1) 文学講演会について | |
| (2) 平成31年度に向けた上伊那教育会諸事業の改善
・充実に関する意見・要望等について | |

7 閉 会

会長挨拶

皆さん、こんにちは。

代議員の皆様には、ご多用の中、第3回総会にご参集いただき、ありがとうございます。また、水曜日は教育課程研究協議会、明日土曜日は上伊那教育研究会が計画され、私たちの研修も秋の実りの時期を迎えています。

6月20日の第2回総会から4ヶ月が経過しました。この間、教育会としても様々な事業が行われました。

8月1・2日には、夏期講習が行われました。私も第1回読み合わせから参加させていただきました。第4回目のとき、ある若い先生が「読み合わせ会に毎回出ていますが、私は全く理解できません。私の授業で、分からなくて困っている子どもの気持ちがよく分かります。」と話してくれました。そして、8月の夏期講習の日を迎えました。その先生も2日間参加しました。閉会後にその先生と話をする、明るい顔で「読んだり話し合ったりしているうちに、純粹経験が少し分かってきました。」と話してくれました。

正直、私も1回や2回読んだだけでは、ほとんど理解できません。でも何度も読み返したり、語り合ったりする中で、気づいたり理解できたりするのが実際です。

今、私たち教師の世界で、語り合う時間が減っていることが危惧されます。学年会等の少人数の中での会話はあっても、その他の先生との関わりが少なくなっているのではないかと思います。子どもの良かったことや子どもの困った姿や授業のこと、自分のこと、趣味のこと等もっともっと語り合いが必要ではないかと思います。

そういう意味で、夏休み2日間「善の研究」やレポートをネタに悩みを含め子どもの姿、自分の経験等をたっぷり語り合う時間がとれたことは、大切な時間だったなと思いました。そして、この若い先生のように「少し分かってきました。」につながってきたのだと思います。

今年は、読み合わせ会も夏期講習も例年よりとても多くの先生方に参加していただきました。今後も語り合うことを大事にしていきたいなと強く思いました。

もう一つ、レポートを書いてくださった先生が8名います。きっと読んでまとめることは至難の業であったのではないかと思います。私もレポートを書いたことが何回かあります。その度、的を得ず、読み合わせ会で参会者の先生からとらえが違っているのではないかと意見をいっぱいいただいたことがあります。

最近講師の唐澤正吉先生から、「レポートを書いた先生方の感性が素晴らしい。どのレポートを読んでも勉強させられる。」と話されていました。また、秋富克哉先生からは、毎回レポートを真剣に読んでいただき、どのレポートに対しても、良さを見つけて認めてくださったあと、こんな読み方もしてみてくださいと助言をいただいています。レポートを書くのは苦しいわけですが、とてもいい勉強ができるのではないかと思います。代議員の先生方には、多くの若い先生の後押しをし、研修会への参加を呼びかけていただき、本当にありがとうございました。

今後も研修事業が続きます。集い合い、語り合い、学び合う研修をめざしていきたいと思えます。

本日の総会ですが、教育会事業の中間報告や『仰望の日』の反省等について協議をします。活発なご審議よろしくお願ひします。

第70回「日本連合教育会研究大会 桐生大会」参加報告から

※下記は、一部抜粋です。詳しくお知りになりたい方は各校の代議員の先生が詳しい資料をお持ちですので、そちらをご覧ください。

大会主題 『人や社会との関わりの中で、思考・判断・表現する力を高め、心豊かに、創造的に生きる子どもの育成』

- ・日本連合教育会は、戦後まもなく明治以来の65年間の教育会の歴史に終止符が打たれた経緯の中で、日本の教育再建のためには職能団体としての教育会の存在は不可欠であるとして、日本を代表する教育会を結成しようという有志の熱い願いと固い決意によって創設された。
- ・群馬県に教育会がなく、桐生市教育会が日本連合教育会に加盟。
- ・桐生市に集い、上伊那教育会の参加者ばかりでなく、信濃教育会他郡市の教育会の皆さんや、桐生市教育会、その他日本全国から集った先生方と語り合うことができ、とても良い機会となった。基調講演の中で語られたように、人と人がつながること、それがこれからの社会の中で、とても大事だということ強く感じた日連教の大会であった。



(飯澤 隆 会長)



・研究の実践として、2つの研究事例を紹介。

・1つ目、確かな読みの力を身に付けた児童の育成。

主体的に読み、学び深め合う言語活動の工夫を図ることにより、児童一人一人の確かな読みの力がつく「1単位時間の授業モデル」の提案があった。話し合い活動の工夫、考えの比較・検討を行うとき、ペア・グループ学習、KJ法、ミニホワイトボード、付箋などの補助教材を開発し活用方法を工夫。

・2つ目、言葉にこだわった学習活動の工夫。

『豊かな語彙力』を身につけさせるための手立てとして、「日常活動」、「交流活動」「課題設定の工夫」という3つのキーワードを柱に学習活動を行った事例の紹介。

- ・最後に、全国から集まった76名の先生方と、研究実践について研究を深めることができました。自分や友達の考えが視覚的に見える教材の工夫などについて、他県の先生方の教育実践をお聞きすることができ、大変参考となった。

(西春近南小 小松 共一 会員)

- ・桐生市の中学校教諭がおっしゃった言葉に大変感銘を受けた。
- ・グループには、経験の浅い先生からベテランの先生まで、幅広い年齢層の先生方が勉強の場に出てきていた。
- ・一度協議が始まるとレポートを基に一人一人が自分自身の子ども観・教育観、授業づくりについて熱く熱く語られていた。
- ・県内にいると長野県の先生方の熱さは、十二分に感じるが、県外にもこんなに熱く明日の子どものために尽力されている方々がいることを実感した。
- ・そんな先生方に交ざり、私も胸を熱くして語らずにはいられなかった。子どもたちとの明日からのくらしが楽しみで仕方がなくなる、そんな研究協議会であった。研修の場で学んだことを生かし、またそこで溜め込んだ心のエネルギーを使って担当している1年生の子どもたちとくらしをつくっていききたい。

(伊那小 小林 正樹 会員)



- ・桐生市は、小中のみならず、市全体で取り組みの連携がされていた。
- ・担任という立場で参加したことで、栄養教諭や養護教諭の先生方が実践している保健や健康に関する取り組みの内容だけでなく、児童や生徒の心身に対しての気づかひや苦勞も話し合いの中で知ることができた。
- ・これまで自分が勤務してきた学校や学区では、小中や家庭、市町村を含め、地域で同一のシートを使ったり、統一した指導や指導の継続を行ったりといった連携した取り組みはなかった。
- ・分科会報告会では、長野県の上伊那郡外の学校の取り組みや様子を知ることができ、身近なところのまだまだ知らない取り組みや参考になる事例、情報などの交換ができ、同じ県内でも知らない先生方と話すことで繋がりや輪を広げることができた。
- ・他県の成果や課題、様子などの情報を知ることができたので、その情報を自校や地域で紹介したり、何か参考にして取り組めることがないか考えたりしていきたい。（辰野西小 藤澤 志穂 会員）



協 議 か ら

各事業の活動中間報告より

※こちらについても、下記は一部抜粋です。詳しくお知りになりたい方は各校の代議員の先生が詳しい資料をお持ちですので、そちらをご覧ください。

教育会各事業の中間報告があり、講習講演会事業（哲学研修・文学研修・授業研修 等）からは次のような反省が報告されました。

- ◇哲学研修 読み合わせ会（4回実施）・第70回夏期講習会（8/1(水)・2(木)開催）約130名参加
 - ・唐澤正吉先生を講師に迎え、各読み合わせ会とも、充実した読み合わせ会が行われた。
 - ・この会は、哲学を学ぶのではなく、哲学を通して自己・教師としての有り様を学ぶ会である。
 - ・夏期講習会では、秋富克哉先生にご講演いただいた。これからも西田哲学を学び、西田哲学を通して自らの教育実践を見つめ直す機会をもつことで、教師としての力量を高める努力を続けたい。

- ◇文学研修会 読み合わせ会（5回実施）
 - ・野溝和人先生を講師に迎え、芥川賞作品を読み合わせることを通して、それぞれの作品の特徴、その作品が生まれた背景、作品に対する評価等について、様々な角度からご指導やご助言をいただいている。他者と出会う場ともなっており、充実した時間となっている。

10月20日（土）に堀井正子先生を講師に「文学講演会」を開く。

- ◇授業研修 授業研修会
 - ・「宮田小学校 本間 大貴先生」の実践を中心に、先生と生徒の学びの姿から多くを学んだ。
 - ・授業研修会は、1月12日、北原和俊先生・松木健一先生を講師に迎え、ご指導いただく予定。



※会員の皆様には、それぞれの事業、活動等にご支援、ご協力をいただいております。また、各委員の皆様には各事業の運営、推進に当たり、お骨折りをいただいております。ありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。